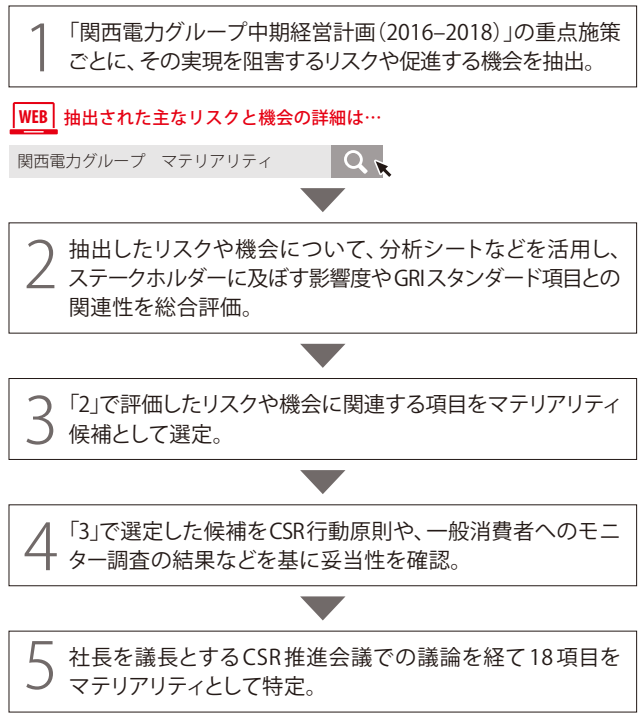


# CSR の観点での重要課題

当社グループの事業ならびに当社グループを取り巻く社会が共に持続可能なものであるために、当社がいま取り組むべき課題を明確にすることを目的として、マテリアリティ(重要課題)を特定し、取組みのPDCAを回しています。また、2030年に向けて世界的な優先課題やあるべき姿を明らかにしている「持続可能な開発目標 (SDGs)」に、当社グループのマテリアリティを中心とする関連した取組みを通じて貢献することをめざしています。

## マテリアリティの特定プロセス

マテリアリティを特定したうえで、CSR行動原則ごとに整理し、主な取組みを本レポートで報告しています。今後も事業環境やステークホルダーからの期待・要請の変化に応じて、マテリアリティを見直すとともに、持続的発展に資する取組みを充実させていきます。



## 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals:SDGs)

2015年9月、国連サミットにて「持続可能な開発目標 (SDGs)」が全会一致で採択されました。2030年までに達成するべく、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動などに関する17のゴールが宣言されています。



## CSR 行動原則とマテリアリティ・主な実績

CSR 行動原則	マテリアリティ	GRI 開示事項	関連するSDGs
—	経済的パフォーマンス	201-1	
	供給力と信頼性	G4-DMA (旧EU)	
	デマンドサイドマネジメント	G4-DMA (旧EU)	
	プラントの廃止	G4-DMA (旧EU)	
	災害などの緊急時対応	G4-DMA (旧EU)	
	顧客の安全衛生	G4-EU25	
	マーケティングとラベリング	417-1※1	
お客さまに選ばれる商品・サービスの安全かつ安定的なお届け	アクセス	G4-EU29	
	システム効率	G4-EU11 G4-EU12	  
	大気への排出	305-4 305-7	 
	排水および廃棄物	306-2	
地域社会の発展に向けた積極的な貢献	地域コミュニティ	G4-DMA (旧EU)	
人権の尊重とダイバーシティを活かした良好な職場環境の構築	労働安全衛生	403-2	
	研修および教育	404-1	
	ダイバーシティと機会均等	405-1	 
コンプライアンスの徹底	環境コンプライアンス	307-1※2	
	社会経済面のコンプライアンス	419-1※3	
	顧客プライバシー	418-1※4	

凡例: 経済項目 環境項目 社会項目

主な取組みと「目標」		2017年度実績	バウンダリ (集計範囲)	関連 ページ
収益の確保	●経常利益	「2018年度 2,000億円」	2,171億円	連結 ベース P7, 19-22, 79
	●自己資本比率	「2018年度 20%」	20.8%	
	●ROA(総資産事業利益率)	「2018年度 3.5%」	3.7%	
電力の安全・安定供給	●最大電力		2,638万kW	関西エリア P5-6, 42-43, 80
	●供給力		2,866万kW	
お客さまへの 省エネコンサルティング	●「はぴeみる電」加入者数		398.8万件	関西電力 P8, 45-47, 54-55
原子力プラントの 活用と廃止計画	●美浜発電所1、2号機の廃止措置 ●大飯発電所1、2号機の廃止措置	「美浜発電所1、2号機の安全 かつ着実な廃止措置の実施」 「大飯発電所1、2号機の廃止 措置計画認可」	美浜発電所1、2号機の廃止措置 計画等の認可(2017年4月19日) 大飯発電所1、2号機の廃炉に伴 う原子力特定資産承認申請書お よび原子力廃止関連仮勘定承認 申請書の提出(2017年12月22日) 大飯発電所1、2号機の廃炉に伴 う発電事業変更届出書の提出 (2018年3月1日)	関西電力 P29, 32
事故・災害に対する 備えと対応	(原子力災害への備え) ●教育、演習受講者数 (美浜・高浜・大飯) ●訓練回数(美浜・高浜・大飯)	「適切な実施」	約 5,900人 約 5,700回	関西電力 P40, 44
	(大規模災害への備え) ●全社総合防災訓練の参加人数	「適切な実施」	847人	
電力設備における 公衆保安の確保	●一般の方の負傷者数	「0人」	7人	関西電力 P5-6, 43
電気に関する各種情報の 発信とコミュニケーション	●お客さま・社会への 適切な情報発信 ●お客さまの声に基づく改善数	「適時・適切な発信」 「継続的な改善」	電気の安全利用やバリューチェーン、 燃料、廃棄物等の情報について、 グループレポート等で確実に発信 (累計)101件	関西電力 P5-6, 38-47, 49-50
電力の品質	●1軒当たりの年間停電時間	「世界で最も優れた水準の維持」	15分	関西エリア P8, 42-43
火力発電所の熱効率の 維持・向上	●火力熱効率(低位発熱量)	「現状の維持・向上」	48.3%	関西電力 P49-50, 52, 80
送配電ロスの低減	●送配電損失率	「現状より低減」	4.35%	関西エリア P50
電気の低炭素化	●CO <sub>2</sub> 排出係数	「2030年度 0.37kg-CO <sub>2</sub> /kWh (電気事業低炭素社会協議会としての目標)」	0.42kg-CO <sub>2</sub> /kWh(暫定値)	関西電力 P8, 49-51, 80
大気汚染防止	●SO <sub>x</sub> 排出量(火力)	「世界で最も少ない水準の維持」	0.039g/kWh	関西電力 P49-50, 58
	●NO <sub>x</sub> 排出量(火力)	「世界で最も少ない水準の維持」	0.077g/kWh	
廃棄物による 環境負荷の低減	●高濃度PCB処理量	「法定期限内での全量処理」	239台	関西電力 P49-50, 57
	●低レベル放射性廃棄物発生量	「低減対策の確実な実施」	1,451本	
地域創造活動の推進	●構想が実現した地域創造活動 の累計件数	「ステークホルダーと連携した 需要の維持・創造」	5件 (2018年6月現在)	関西電力 P62-63
従業員の安全衛生	●災害度数率	「0」	0.29	関西電力 P8, 68
従業員のスキル・ 能力開発	●研修受講者数(集合研修)		40,893人	関西電力 P67
ダイバーシティの推進	●女性役職者数と構成比	「2020年度末までに 2013年度比の倍以上」	106人 1.9%	関西電力 P8, 66
	●事務系女性採用者数と構成比	「女性比率40%以上」	21人 43%	
コンプライアンスの徹底	●コンプライアンス上の重大な 問題事象に関するプレスリリース	「重大な違反0件」	環境 コンプライアンス 0件 社会経済面の コンプライアンス 1件	関西電力 グループ P59, 65
情報セキュリティ マネジメント	●個人情報漏えいに関する プレスリリース	「情報漏えい0件」	1件	関西電力 グループ P74

(参考にしたGRIスタンダード) ※1 GRI417: マーケティングとラベリング2016の417-1、GRI103: マネジメント手法2016の103-1、103-2、103-3 ※2 GRI307: 環境コンプライアンス2016の307-1、GRI103: マネジメント手法2016の103-1、103-2、103-3  
※3 GRI419: 社会経済面のコンプライアンス2016の419-1、GRI103: マネジメント手法2016の103-1、103-2、103-3 ※4 GRI418: 顧客プライバシー 2016の418-1、GRI103: マネジメント手法2016の103-1、103-2、103-3

# CSR 行動原則に基づき、すべての事業活動を展開

## CSR 行動原則



### 1 お客さまに選ばれる商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

→P38

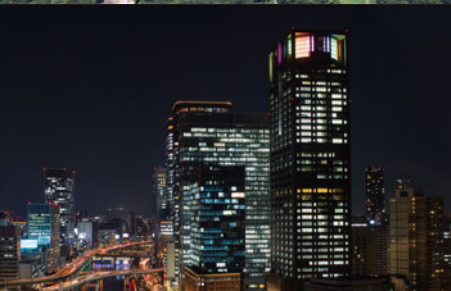
関西電力グループは、お客さまに選ばれる商品・サービスの開発・改善に努めるとともに、社会に不可欠なライフラインを担う事業者として、商品・サービスの安全かつ安定的なお届けに、日々、万全を期します。



### 2 よりよき環境の創造を目指した積極的な取り組み

→P48

関西電力グループは、環境との関わりが深いエネルギー事業者として、事業活動が地球環境に与える影響の大きさを認識し、自らの事業活動に伴う環境負荷および環境リスクの低減に努めます。さらに、環境負荷の少ない商品・サービスの提供を通じて、よりよき環境の創造を目指し、持続可能な社会の構築に積極的に貢献します。



### 3 地域社会の発展に向けた積極的な貢献

→P61

関西電力グループは、地域や生活に密着した事業者として、事業活動に関わる地域社会の発展なくしては、自らの発展はありえないという認識のもと、地域経済や地域コミュニティの活性化に向けた取り組みを通じて、地域社会の発展に積極的に貢献します。また、海外の事業活動においても、現地の文化や慣習に配慮しながら、それぞれの地域社会の発展に貢献します。



### 4 人権の尊重とダイバーシティを活かした良好な職場環境の構築

→P64

関西電力グループは、「人権」を国際社会共通の普遍的な価値ととらえ、人権に関する国際的な規範を支持し、あらゆる事業活動において人権を尊重します。また、事業活動に関わる全ての人々にとって、安全で働きやすい環境づくりに取り組むとともに、ダイバーシティ(一人ひとりの多様性)を最大限に活かします。



### 5 透明性の高い開かれた事業活動

→P69

関西電力グループは、事業活動に社会の声を的確に反映させるとともに、適時的確な情報公開・発信や、社会のみなさまとのコミュニケーションの一層の推進により、事業運営における公正さを確保し、社会に対する説明責任を誠実に果たすことを通じて、透明性の高い開かれた事業活動を行います。



### 6 コンプライアンスの徹底

→P72

関西電力グループは、事業活動のあらゆる局面において、法令、社内ルール、企業倫理等を遵守し、コンプライアンスを経営の基盤として実践・徹底します。また、グループ全体でこれらの実践を保証するためのしくみを構築し、その維持・改善を図ります。